

## Broaden your horizons 59 ~さあ、視野を広げて!~



こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

暑い日々が続いておりますが、みなさま、溶けていませんか？

さて、7/23~7/29の間、JR京浜東北線・中央線のトレイン

チャンネルで、吉瀬美智子さんナビゲートの「暮らしのエコナビ」

にメディセレの統括心理カウンセラー、色彩心理アドバイザーの種田梨夏子監修「節電・体感温度編」が流れました (<http://panasonic.jp/eco/train/>)。

メディセレの心理講座には、「色彩と心理」という講座があります。この「色彩心理」は、経営にも使えます。

昔、マクドナルドの店内は赤と黄色で配色されておりました。これは落ち着かない配色です。でも、この色を使うことで、店舗として目立ち、長居できないので、お客様の回転率が上がるのです。そんな中、スターバックスが参入してきました。木目調の落ち着いた配色を使うことで、高級感が出て、ゆっくりできるお店ということで、カフェとして定着しました。その後、マクドナルドも木目調のお店が出てきましたよね。

このように、経営にも影響を及ぼすのが色彩心理学です。これを使って、暑い夏を乗り切れないか？ ということで相談がきたのです。

「暖色のお部屋」と「寒色のお部屋」——。体感温度は何度違うのでしょうか？ まず、暖色とは、太陽や火をイメージした、暖かさを感じる赤や黄色、オレンジです。次に、寒色とは、水や氷をイメージした、寒さを感じる水色や青、緑です。そして、答えは……3℃です。3℃も部屋の色だけで変わるんですよ！ 31℃の暑いお部屋のカーテンをブルーにするだけで、28℃に体感温度が変わります。凄いですよね。クッションやソファカバーをブルーに変えて、額も青い海の写真に変え、節電の暑い夏を乗り切りましょう！

追伸：青やスカイブルーなどは食欲を抑える色でもあります。テーブルクロスをブルーに変えることで、ダイエット効果も期待できますよ。あ、メディセレのコーポレートカラーのオレンジも、夏だけはスカイブルーに？！

Medisere(メディセレ) 代表取締役社長 児島 恵美子